

日本の古典を題材にした芥川龍之介の作品

「 青年と死 」 ^{※戯曲}	1914年（大正3年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 1』（岩波書店）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻4の24 「龍樹、俗の時に隠形の薬を作る語」
『三国伝記』	巻の2 「龍樹大士術法昔事」

「 羅生門 」	1915年（大正4年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 1』（岩波書店）、『日本近代文学大系 38 芥川龍之介』（角川書店）、『現代日本の文学 11 芥川龍之介』（学研）、『芥川龍之介の「羅生門」「河童」ほか6編 ビギナーズ・クラシックス 近代文学編』（角川書店）、『羅生門・偷盜・地獄変・往生絵巻』（講談社文庫）、『地獄変』（集英社文庫）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻29の18 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の物語」
	巻31の31 「太刀帯の陣に魚を売る嫗（おうな）の物語」

「 鼻 」	1916年（大正5年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介 ちくま日本文学002』（筑摩書房）、『芥川龍之介全集 1』（岩波書店）、『日本近代文学大系 38 芥川龍之介』（角川書店）、『現代日本の文学 11 芥川龍之介』（学研）、『芥川龍之介の「羅生門」「河童」ほか6編 ビギナーズ・クラシックス 近代文学編』（角川書店）、『地獄変』（集英社文庫）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻28の20 「池尾の禅珍内供の鼻の物語」
『宇治拾遺物語』	巻2の7 「鼻長き僧の事」

「 芋粥 」	1916年（大正5年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介 ちくま日本文学002』（筑摩書房）、『芥川龍之介全集 1』（岩波書店）、『日本近代文学大系 38 芥川龍之介』（角川書店）、『現代日本の文学 11 芥川龍之介』（学研）、『地獄変』（集英社文庫）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻26の17 「利仁の將軍若き時京より敦賀に五位を将て行く物語」
『宇治拾遺物語』	巻1の18 「利仁芋粥の事」

「 運 」	1917年（大正6年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 2』（岩波書店）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻16の33 「貧しき女、清水の観音に仕へて盗人の夫にあふ物語」

「 道祖問答 」	1917年（大正6年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 2』（岩波書店）	
【題材となった古典作品】	
『宇治拾遺物語』	巻1の1 「道命阿闍梨、和泉式部の許にて読経し五条の道祖神聴聞の事」
『今昔物語集』	巻12の36 「天王寺の別当道命阿闍梨の物語」

「 偷盜（ちゅうとう） 」	1918年（大正7年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 2』（岩波書店）、『羅生門・偷盜・地獄変・往生絵巻』（講談社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『今昔物語集』	巻29の3 「人に知られざる女盗人の物語」
	巻29の6 「放免ども強盜せんために人の家に入りて捕へらるる物語」
	巻29の7 「藤太夫□の家に入る強盜捕へらるる物語」
	巻29の8 「下野守為元の家に入る強盜の物語」
	巻25の12 「源頼信朝臣の男頼義馬盗人を射殺す物語」
	巻26の20 「東の小女狗と咋ひ合ひて互に死する物語」
	巻29の12 「筑後の前司源忠理の家に入る盗人の物語」

「 袈裟と盛遠 」	1918年（大正7年）
【芳泉高校図書館で作品を読む】	
『芥川龍之介全集 3』（岩波書店）、『蜘蛛の糸・地獄変』（角川文庫）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）	
【題材となった古典作品】	
『源平盛衰記』	巻19 「文覚発心附東帰節女の事」
『今昔物語集』	巻30の8 「大納言の娘、内舎人に取らるる物語」

「地獄変」

1918年（大正7年）

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介 ちくま日本文学002』（筑摩書房）、『芥川龍之介全集 3』（岩波書店）、『日本近代文学大系 38 芥川龍之介』（角川書店）、『現代日本の文学 11 芥川龍之介』（学研）、『芥川龍之介の「羅生門」「河童」ほか6編 ビギナーズ・クラシックス 近代文学編』（角川書店）、『蜘蛛の糸・地獄変』（角川文庫）、『羅生門・偷盗・地獄変・往生絵巻』（講談社文庫）、『地獄変』（集英社文庫）

【題材となった古典作品】

『宇治拾遺物語』 巻3の6 「絵仏師良秀、家の焼くるを見て悦ぶ事」

『古今著聞集』 巻11の4 「巨勢弘高、地獄変の屏風並びに千体不動尊を画く事」

『十訓抄』 中巻6 「忠直を存ずべき事」

中巻6の35 「良秀のよじり不動」

「龍」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 4』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 2』（筑摩書房）

【題材となった古典作品】

『宇治拾遺物語』 巻11の6 「蔵人得業、猿沢池の龍の事」

「往生絵巻」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 7』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 2』（筑摩書房）、『羅生門・偷盗・地獄変・往生絵巻』（講談社文庫）

【題材となった古典作品】

『今昔物語集』 巻19の14 「讃岐の国の多度の郡の五位、法を聞きて即ち出家せる物語」

「好色」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 8』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 2』（筑摩書房）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）

【題材となった古典作品】

『今昔物語集』 巻30の1 「平定文本院の侍従に仮借する物語」

『宇治拾遺物語』 巻3の18 「平貞文、本院侍従の事」

『十訓抄』 上巻1の29 「人の振舞と人柄について」

「俊寛」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 8』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 2』（筑摩書房）、『羅生門・鼻』（新潮社文庫）

【題材となった古典作品】

『平家物語』 巻4

『源平盛衰記』 第7

「藪の中」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介 ちくま日本文学002』（筑摩書房）、『芥川龍之介全集 8』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 2』（筑摩書房）、『日本近代文学大系 38 芥川龍之介』（角川書店）、『現代日本の文学 11 芥川龍之介』（学研）、『芥川龍之介の「羅生門」「河童」ほか6編 ビギナーズ・クラシックス 近代文学編』（角川書店）、『地獄変』（集英社文庫）

【題材となった古典作品】

『今昔物語集』 巻29の23 「妻を具して丹波の国に行く男、大江山において縛られし物語」

巻29の22 「鳥部寺に詣づる女、盗人にあふ物語」

巻29の2 「多衰丸、調伏丸の二人の盗人の物語」

「六の宮の姫宮」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 9』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 3』（筑摩書房）、『トロッコ・一塊の土』（角川文庫）

【題材となった古典作品】

『今昔物語集』 巻19の5 「六宮の姫君の夫出家する物語」

巻26の19 「東に下る者、人の家に宿りて産にあふ物語」

巻15の47 「悪業を造る人、最期に念仏を唱へて往生する物語」

「尼提（にだい）」

【芳泉高校図書館で作品を読む】

『芥川龍之介全集 12』（岩波書店）、『芥川龍之介全集 3』（筑摩書房）

【題材となった古典作品】

『今昔物語集』 巻3の21 「長者の家の屎尿を浄むる女、道を得たる物語」

【参考文献】

長野嘗一，1967，『古典と近代作家 芥川龍之介』有朋堂。

菊地弘，1985，『芥川龍之介事典』明治書院。

※ほか、「素戔鳴尊」/「老いたる素戔鳴尊」、「邪宗門」（未完）という作品も日本の古典作品が題材となっています。

作品は全てインターネット上でも読むことができます。→「青空文庫」（http://www.aozora.gr.jp/）

資料のお問い合わせは芳泉高校図書館まで♪ / 館内に芥川龍之介「羅生門」コーナー設置中！